

第40回 歴史&ハイキング愛好会例会報告 写経&高輪～三田散策

5月25日（木）午前10時に高輪ゲートウェイ駅の駅ナカピアノの前に会員15人が集合。広々とした駅構内で資料を基に本日のコースを説明し改札を出ました。



駅前が開発中で、大きなビルが次々と建てられているところです。5年後にはここも様変わりしていることでしょう。



明治の初め、汽笛一斉新橋を～で歌われた当時、列車はこの辺りでは海の上に築いた堰堤上を走っていました。建設中の大きなビルのすぐ脇ではその遺跡発掘調査作業が進められています。

工事の遮蔽板で狭くなった歩道を歩き、最初の訪問場所、高輪大木戸跡へ。ここは江戸の町の出入り口となっていたところです。

続いて、今回の企画の目玉となる写経会場、道往寺に移動。



住職の説明で般若心経の写経開始。皆熱心に筆を運び、しばし静寂の時間が続きました。



それぞれ書き上げた後、本堂にて住職の読経の中、それを仏前に納めて焼香。私たちが書いた写経文は年末にまとめて増上寺でお焚き上げされるとのことです。皆で般若心経を2回読み上げて心身共に清められた感じでした。



※参加者（敬称略）

- ：上段左・平木行雄・平木令夫人・小澤敏宣・小口健一郎・川股賢三・岩崎正憲・山田昌之
・白岩仙一・六角 學
：下段左・住田勝治・遠藤哲也・木頃勝紀・ご住職・田代 周・野田 佑・藤井弘道

昼食後、高輪から三田界隈の遺跡、寺社、公園を散策。この辺りはビルの新築など工事中のところもあって、予定していたコースをカットせざるを得ないところもありました。

5月の下旬といえば、太陽はずいぶんと高くなり強い日差しとなりますが、日陰は涼しく心地よい風も吹く中、午後2時半には無事目的地の田町駅にたどり着きました。

以上